

## 日本夜景遺産

### 第1回高塔山 夜景と光る地上絵の響演・光遊び支援

開催日:平成27年10月31日(土) 場所:若松区高塔山

★第1回高塔山 夜景と光る地上絵の響演が、山頂で10月31日(土)、11月1日(日)に開催されました。若戸大橋・洞海湾・響灘の眺望で日本夜景遺産に指定された高塔山を記念するイベントです。さらに今年、世界遺産として登録された八幡製鐵所を中心とする明治日本の産業革命遺産群の関連としての高塔山の観光価値がたかまっています。

★会場の高塔山山頂では、若戸大橋を望む夜景を背景に若松区の小学校、幼稚園、保育園の児童の手づくりの「灯籠」3000個で、「わかっぱ」と「若戸大橋と花火」が宵闇にくっきりと浮かびました。

★同窓会若松支部では、6月に「若松あじさい祭」での「高塔山あじさいガイド」を定例行事として支援しており関連して秋の高塔山行事として「光遊び」を支援しました。

★見学に訪れた児童やご家族の方に地上絵のそばで「ひかり遊び」を開催しました。

★ひかり遊びは、「光の輪投げ」「宝石箱に願いを」「わかっぱあみだくじ」の3コーナーで実施。同窓会の有志15人が童心にかえり、光の輪が入り、光の玉が宝石箱に入るたびに、あみだくじが当たるたびに児童の歓声がおこり世話役の同窓会員と応援の若松商の学生が、児童やご家族と交流しました。1時間30分で用意した景品がなくなるほど好評でした。

★夜冷えのなか、受付や世話役を快く引き受けていただいたスタッフの同窓会会員の皆様本当にありがとうございます。★若松区役所の都甲課長、清水担当からもお礼の言葉がありました。

夢追塾同窓会若松支部長 香月 英彦

ご協力者:福内一之、横村三穂子、久保晴資、野口逸子、池田毅、江崎弘子、山田さき子、熊谷洋子  
松井 郁子、常光孝一、渡邊 俊孝、林田寿磨子、出口久美子、楠 稔幸(敬称略)



高塔山夜景ボランティア勢揃い



宵闇に浮かぶ地上絵

地上絵・日没前



高塔山からの若戸大橋



宝石の玉手箱コーナ～



光の輪投げコーナー



あみだくじコーナー



アンケートコーナー



光のわかっぱ君もお出迎え・お見送り